

☆くしろ市議会だより

お伝え
します

市議会の
こと

平成 23年8月1日

2011 8 AUG

No.26

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.hokkaido.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/
(釧路市ホームページからクイックリンク「釧路市議会」へ
アクセスしてください)

(次回の9月定例会は、9月7日(水)午前10時
から開会の予定です。)

4月に初当選した6人を含めて15人が
一般質問に登壇しました。
3月11日発生した
東日本大震災を受けて、安全・安心のまち
づくりをどう進める
か、釧路市の防災対
策と地域防災計画の
見直しに質問が集中。
各議員からは、津波
危険地域に市営住宅
を建設する、避難施
設としての学校耐震
化の推進などの提案
も示され、活発な議
論となりました。



「供用が開始された耐震・旅客船ターミナル」

防災対策に質問が集中した 6月定例会

6月1日開会した釧路市議会6月定例会。
質疑・一般質問では多くの議員が防災対策を中心に議論し、
また、議会基本条例の具体化として「二問一答方式」も実施しました。
そして、議会報告会の開催に向けた議論も始まりました。

(この面の文責・梅津則行議会広報特別委員長)

市長からは「二年かけて釧路市地域防
災計画を見直していく」、また、「あらゆる
機会を通じて市民の声を聞いていく」と
の答えがありました。

そして、6月議会に提案された震災関
連議案(平成23年度補正予算、専決処分
など被災地支援9千839万円を含む
総額6億1千457万円)は全会一致で
可決しました。

スタートした二問一答の議論 市民に分かりやすかったか?

6月定例会から導入した「二問一答方
式」の一般質問。関係者からは「二つの項目
に質問・答弁が集中するので、分かりやす
い」「答弁する理事者は大変」など意見が
寄せられました。さて、市民の皆さまの評
価はいかがでしょう? また、今回は
100人を超える方々が議会を傍聴され
ました。議会改革への期待を受けて、さら
に、分かりやすく、緊張感をもって議論を
進めていきます。

次回の定例会は9月7日(水)開会予定
です。より多くの傍聴をお願いします。

議会日程	
5/18	石炭対策特別委員会
5/25	議会運営委員会
6月定例会 (会期10日間)	
6/1	市政報告 提案説明 質疑・一般質問
6/2,3	質疑・一般質問
6/6~8	常任委員会審査
6/9	委員会採決
6/10	委員長報告 本会議採決



党派略称説明

- 自民ク 自民クラブ
- 市民連 市民連合議員団
- 公明 公明党議員団
- 共産党 日本共産党議員団
- 自新ク 自由新政クラブ
- 市政ク 市政クラブ
- 政進会 政進会

本会議

質疑・一般質問

に咲き始める釧路の特性に合わせ「チューリップ&花フェア」が10年前から実施されている。今後とも同フェアを釧路の春の訪れを楽しむイベントとして、より市民に親しまれるものとなるよう充実を図っていきたい。



市民連 大島 毅 議員

質疑・一般質問は、議案の質疑と市政の諸問題や将来の見通しなどについて市の考えを聞くもので、各定例会で実施しています。

今定例会では、6月1日から、3日間にわたり、15人の議員により行われました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。(質問順に掲載)



共産党 村上 和繁 議員

問 国は学校施設整備の基本方針を見直し、27年度までに全学校の耐震化を完了させる計画を掲げたが、市も同年度までの期限を定め、耐震化を進めるべきではないか。

答 早期に学校施設の耐震化を完了するため、23年度においてPFI事業導入の可能性について調査するものであり、調査の結果を踏まえ完了年度を見極めていきたい。



自民党 山口 光信 議員

問 春のイベントとして、新たに桜まつりを開催してはどうか。

答 桜をはじめさまざまな花が一気

問 大津波が河川を上ることを想定した橋梁の対津波補強が必要と考えるがどうか。

答 現在、国が示している橋梁の技術基準では、地震に対する耐震設計については検討されることになっているが津波に関する技術基準については示されていないため、今後、情報収集に努めるとともに国の動向を注視したい。



公明 松橋 尚文 議員

問 ツイッターによる観光情報発信に関し、その効果と課題をどのように考えているのか。

答 効果は、リアルタイムでの情報発信や受け手から反応が届くことから、より詳細な情報提供とニーズの把握が可能となったこと。課題は、観光に関連する「旬」の情報を継続的に発信・提供することであると考えている。



自新党 森 豊 議員

問 福島の原発事故による風評被害

でスケトウダラ等の輸出が厳しくなっているが、どう対応していくのか。

答 市としても風評被害防止に関する情報収集に努めるとともに、流通確保を図るため、地元経済界とも連携を図りながら、国・道に対し、引き続き適切な情報発信と防止施策の充実を訴えていきたい。



市政党 金安 潤子 議員

問 「釧路市職員の社会・環境等活動推進指針」を受け、市職員が地域活動の大切さと果たすべき役割を認識し、町内会活動やボランティアを率先すべきではないか。

答 同指針では、市職員が地域で活動することの大切さを認識した上で、率先して積極的に関与するよう求めている。今後とも理解を深めてもらうよう努めたい。



共産党 梅津 則行 議員

問 特別養護老人ホームの整備を急ぐべきと考えるが、市の認識を示してほしい。

答 依然として100人を超える待機者があり、次期介護保険事業計画期間の中でも一定程度の同ホーム整備は必要と考えているが、具体的な整備計画については、各種調査の結果や同計画策定に係る議論等を踏まえ検討を進めていきたい。



委員会審査

3常任委・1特別委

委員会は、議案などの詳細な審査と調査を行うために設けられる、議会の内部審査機関です。

今定例会では、3常任委員会と1特別委員会の審査が行われました。その中から各委員長による主な審査内容をお知らせします。

民生福祉常任委員会

宮田 団 委員長

市立阿寒病院の今後のあり方が検討されており、どのようなになるか



「市立阿寒病院」

域住民は大変心配しているが、いつ頃をめどに方向性が示されるのかとの質問がありました。

市長は、今の段階で明確な時期を示すことはできないが、「阿寒地域の医療と福祉に関する検討委員会」での協議は夏までを予定しており、9月定例会において方向性を示せるようになっていると望ましい。同検討委員会の意見等を踏まえて、できる限り早期に市としての方針を示せるように検討を進めたいと答えました。

総務文教常任委員会

土岐 政人 委員長

釧路市都市経営戦略会議から提言された「釧路市都市経営戦略プラン」の取り組みについて質問がありました。

市長から、人口減少社会の中で、限りある資源を効率的、かつ有効に活用して住民福祉の増進を図りながら、最少の経費で最大の効果を挙げることを目的に取り組んでいきたいとの方針が示されました。また理事者から、同戦略会議有識者の参加を得て、10月に市民周知のためのフォーラムを開催し、まちづくりの主役である市民の声を集約して、官民一体での取り組みを進めることも示されました。

石炭対策特別委員会

畑中 優周 委員長

今後の研修事業に対する情勢は厳しいものがあるが、東日本大震災で国のエネルギー政策に関する考え方が変わる要素が出るのではないかと

自民ク 三木 均議員

問 地域の相互扶助機能が低下する現状において、防災を共通の問題として地域住民が行動することで生まれる一体感に着目し、まちづくりを考え直すべきではないか。

答 地域住民が相互に助け合うコミュニティの活性化がまちづくりの原動力になると考えており、今後とも町内会等の地域活動に対する支援をしっかりと行っていきたい。

市民連 松尾 和仁議員

問 富士見球場は、迷惑駐車などにより周辺の市民からの苦情が多く、近年は使用頻度も減少しているが、同球場の今後の方向性についてどのように考えているのか。

答 同球場は老朽化が極めて顕著であり、施設維持は難しいと考えているため、今後、競技団体などの意見も聞いて施設集約や閉鎖時期などについて検討していきたい。

公明 秋田 慎一議員

問 このたびの大震災を教訓に、釧路の子どもたちに何を学ばせようとするのか、検討しているものがあるか、示してほしい。

答 子どもたち一人一人に、互いに助け合い、相手を思いやる姿から、心の絆の大切さを考え、人としての優しさを育んでいく「心の教育」の一層の

充実を図っていかねばならないと認識している。

自新ク 戸田 悟議員

問 災害による損害で軽自動車の修理が必要となった事実を踏まえ、市税条例に軽自動車税の減免規定を設けて適用するなど市民を守るための考えを持つべきではないか。

答 現在、同条例には、当該減免の規定がなく対応できない状態にあるが、他都市の状況も見ながら改正について前向きに検討していきたい。

市政ク 土岐 政人議員

問 大楽毛南地区では、近場の高い建物、公共施設、民間の施設を問わず新たな避難施設の設定が必要であり、今後の見直しの中で検討するよう要望するがどうか。

答 このたびの津波避難における大楽毛・星が浦地区の避難実態などについて把握をし、地域防災計画の見直し作業の中で検討していきたいと考えている。

共産党 石川 明美議員

問 このたびの津波で被災した市民に見舞金を支給するため、3年前に廃止した災害見舞金支給条例の再度制定を求めるがどうか。

答 同条例は、各種法律や制度の整備により廃止したものであり、再度

の条例制定は考えていない。なお、市の対策としては、市内の被災地域を戸別に訪問して状況を確認している。

自民ク 草島 守之議員

問 原子力に代わる電力エネルギーとして、北海道の豊富な自然を生かした循環型エネルギー確保に向け、市でも開発・研究を進めるべきと思うがどうか。

答 原子力発電に関するしっかりとした情報を市民に提示しながら、環境に優しい自然再生エネルギー活用の機運を作っていくことが重要と考える。

市民連 宮田 回議員

問 ユニバーサルデザインに配慮した、市民にわかりやすい市役所の案内表示、動線誘導方法の改善について検討してはどうか。

答 市役所庁舎の案内表示などの改善については、住民目線からの窓口サービスの満足度アップにつながる政策形成に向けての検討に参加した市職員からの提言内容も踏まえ、早急に対処したい。



市の研修事業に対する考え方に変化はあるかとの質問がありました。理事者からは、新興国の経済発展などにより、石炭需給の逼迫化が一段と見込まれており、石炭の安定供給に資する高度化事業はより重要になってきていると認識しているとの答弁がありました。

経済建設常任委員会

鶴間 秀典委員長

釧路市フィットネスセンターについて、市が今年度末をもって閉鎖し、プール機能を鳥取温水プールに集約したい旨の報告がなされ、議会に存続の陳情書を提出した二団体から委員会に対し熱く趣旨説明がなされました。委員からは、「今後利用者との協議を行うべきでは」「経費節減、利用者負担を上げた場合のシミュレーションを出すべき」など、多くの質問



「釧路市フィットネスセンター」

や要望が出されました。理事者からは、「一定の時間をかけて市民と丁寧に議論をしていきたい」との答弁がありました。

議会用語解説 「陳情」

「陳情」とは、市議会に対して、「その実情を述べ、適当な措置を要望する」ため、文書により提出いただくものをいいます。

市議会では、市民の皆さまからの提出を政策提案と位置付け、審査を

行う委員会において提出者の意見を聴く機会を設けることにしています。6月定例会では、市フィットネスセンターの存続についての陳情2件が提出され、4面掲載の審議結果のとおり継続審査となり、次期(9月)定例会で再度審査されることになりました。

「林活議連」総会を開催

釧路市議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟(略称「林活議連」)の定期総会が6月10日、本会議

場で開催され、22年度事業報告や決算報告、23年度活動計画案や予算案などが承認されました。また、新会長に渡辺慶蔵議員が選出されました。

※3 「釧路市職員の社会・環境等活動推進指針」とは、CSR活動(企業が法令や倫理規範の遵守はもとより、自主的に情報開示や環境保全活動などに取り組むことによって、社会的信頼度を高めるとともに、地域や社会全体に貢献していこうとする動き。Corporate Social Responsibilityの略)の考え方を取り入れて策定した釧路市職員の行動指針。

平成23年 第4回 6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意・承認)となったもの(24件)

市長提出議案			
予 算	平成23年度一般会計補正予算	その他	過疎地域自立促進市町村計画の変更に関する件
	平成23年度介護保険特別会計補正予算		株式会社釧路振興公社の議決権行使について同意を求める件
	平成23年度動物園事業特別会計補正予算		第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請に関する件
	平成23年度水道事業会計補正予算		平成22年度一般会計補正予算(2件)
条 例	議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例	専決処分	平成22年度駐車場事業特別会計補正予算
	市税条例の一部を改正する条例		平成22年度市設魚揚場事業会計補正予算
	公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例		平成23年度一般会計補正予算(2件)
契 約	中央小学校第2期建築主体工事		平成23年度駐車場事業特別会計補正予算
	釧路小学校建築主体工事		平成23年度市設魚揚場事業会計補正予算(2件)
議員提出議案			
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか5大臣)		
	北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書(提出先:厚生労働大臣ほか1関係機関)		
	被災者支援・被災地の復旧・復興と原発事故への補償を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの(4件)

○賛成 ×反対

市長提出議案									
件名	会派名[()内は議員数]	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果
予 算	平成23年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	可 決
条 例	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	可 決
その他	標茶町との定住自立圏形成協定締結について同意を求める件	○	○	○	×	○	○	○	同 意
	弟子屈町との定住自立圏形成協定締結について同意を求める件	○	○	○	×	○	○	○	同 意

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。

◎ 請願・陳情(2件)

○採択 ×不採択 △継続審査

件名	会派名[()内は議員数]	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果
陳 情	フィットネスセンターの存続を求める件	△	△	△	△	△	△	△	継続審査
	フィットネスセンターの存続に関する件	△	△	△	○	△	△	△	継続審査

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。

議会報告会の開催に向けて検討を開始しました

6月定例会において、議会広報特別委員会に対し、議会報告会の開催に向けての内容検討を進めることが議決されました。

これを受けて、現在、議会広報特別委員会では、年内の開催をめどに鋭意検討を進めておりますので、開催日程・場所・報告会の内容などが決定次第、市民の皆さまにお知らせいたします。

市議会の傍聴にきませんか？

6月定例会の本会議には、過去4年間でも最高の101名の市民の皆さまが傍聴されました。

市議会では、本年4月に制定した議会基本条例に基づき、今後とも、より市民の皆さまに開かれた分かりやすい議会となるよう、努めてまいりますので、ぜひ、次期9月定例会にも、より多くの皆さまが傍聴されますよう、お待ちしております。

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴していただけますので、分からないことなどがありましたら、お気軽に議会事務局(TEL 31・4581)へお問い合わせください。

	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
市民連合議員団(6)	2,880,000	2,672,104	207,896	92.8
公明党議員団(5)	2,400,000	2,082,557	317,443	86.8
清風会(5)	2,400,000	2,391,640	8,360	99.7
自由新政クラブ(4)	1,920,000	1,303,948	616,052	67.9
阿寒音別クラブ(4)	1,920,000	1,903,208	16,792	99.1
日本共産党議員団(3)	1,480,000	1,139,183	340,817	77.0
市政クラブ(2)	960,000	503,396	456,604	52.4
無所属・二瓶雄吉議員	480,000	461,965	18,035	96.2
無所属・藤原厚議員	480,000	16,930	463,070	3.5
無所属・草島守之議員	480,000	152,591	327,409	31.8
合 計	15,400,000	12,627,522	2,772,478	82.0

※()内は会派議員数

政務調査費についてお知らせします

政務調査費は、議員の政策形成能力や審議機能を強化することを目的に、会派または会派無所属議員に対して交付しています。(1人月額4万円)

市議会では、22年度交付分の政務調査費に係る収支報告書と出張報告書を、市議会ホームページと市役所1階の市政情報コーナーで公開いたしますので、ご利用ください。